

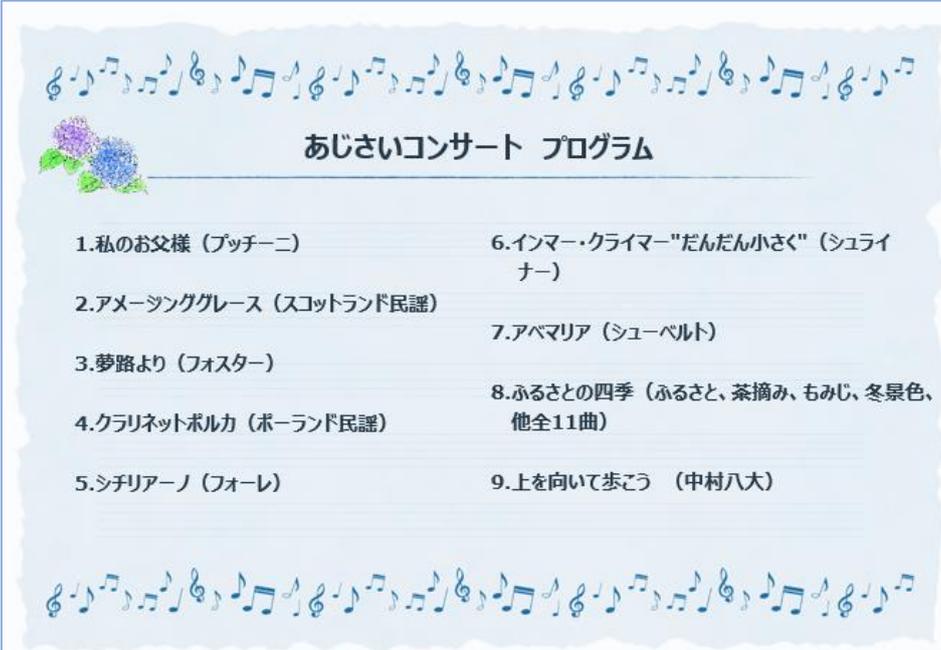
あじさいコンサート 大盛況!

あじさいコンサートが6月29日(木)郷州公民館で開催されました。午前の部、午後の部の2回公演で、参加申込者は何と193名、当日の実際の参加者数は185名で、過去に類を見ない大盛況なコンサートでした。今回のコンサートは今までのように楽器だけの演奏ではなくてソプラノ歌手の歌唱も加えて、「ソプラノ、クラリネット、ピアノ」のトリオ演奏でした。

演奏者は、

ソプラノ 佐々木 友紀子さん
クラリネット 宮増 孝江さん
ピアノ 渡邊 美音さん

演奏曲名は、



あじさいコンサート プログラム

1.私のお父様 (プッチーニ)	6.インマー・クライマー"だんだん小さく" (シュライナー)
2.アメージンググレース (スコットランド民謡)	7.アベマリア (シューベルト)
3.夢路より (フォスター)	8.ふるさとの四季 (ふるさと、茶摘み、もみじ、冬景色、他全11曲)
4.クラリネットポルカ (ポーランド民謡)	9.上を向いて歩こう (中村八大)
5.シチリアーノ (フォーレ)	

スタート曲はプッチーニ作曲の「私のお父様」でここからの3曲はトリオ演奏です。会場に響き渡るソプラノ歌手の歌声がず〜んと心に脳裏に響きます。これは凄い、どこからあんな声が出るのでしょうか。

そのあと、クラリネットとピアノの演奏です。クラリネットは管楽器の中で一番音域が広くて人の声に近いという説明がありました。この話を聞いて演奏を聴いてみると確かに上から下までかなりの音域です。「だんだん小さく」という曲の演奏ではまた凄いことが起きました。クラリネット

を曲名と同じようにだんだん小さくしていく演奏で5段階に切り離して最後は口元だけのほんとは小さな楽器になりました。



ピアノとクラリネットの演奏に魅了されました



クラリネットがだんだん小さくなってビックリ!
これでまだ2段階です

さてそのあとは、ピアノの伴奏でソプラノ歌手の独唱です。本人は緊張で頭が真っ白と話していましたが、私たちから見るとそんなことは微塵も感じませんでした。堂々とした風情と迫力満点の歌声です。お話もどこか自信たっぷり、若い時よりも今の方が音域も広がったし歌詞を伝えるには経験を重ねた方がいい、今も成長を続けていますと話されていました。これ、見習いたいですね。シューベルト作曲の「アベマリア」の熱唱は最高でした。そしてそのあとの「幸せなら手をたたこう」を全員で手と足を動かして歌いました。これもとても楽しかったです。



ソプラノの声量と音域の広さ、そして美しい日本語の「ふるさとの四季」
に感動し思わず涙が出そうになりました

そのあとの「ふるさとの四季全11曲」のトリオ演奏はこれまた最高に良かったです。昔の子供の頃を懐かしく思い出して感動しました。心が熱くなりました。最後の曲「上を向いて歩こう」で全9曲の演奏が終わりました。演奏者3名が舞台上で深く頭を垂れると、会場では「ブラボー」「ア

ンコール」の声と拍手の嵐でした。そしてアンコール曲は坂本九さんが歌った「見上げてごらん夜の星を」、この名曲を素敵な演奏にのせて歌い上げて終了となりました。

また最後に触れずにはられません。ピアノ奏者はすべての曲を奏でて時には激しく時には優しく時にはリードしてコンサートをまとめ上げていました。そして参加者の皆さんは、これこそ最高に素敵な聴き手でした。



参加者の皆さまの感動が演奏者に共鳴し素晴らしいコンサートになりました

公演終了後、参加者の皆さまに感想を聞きました。「感動しました」、「涙が出ました」、「涙が出る一步手前でした」、「ソプラノは華がありますね」、「何か元気をもらいました」、「今回の演奏はとても良かったです」と皆さん口々に話されていました。私が今日の演奏はまあまあでしたかと聞いた方には叱られました。「まあまあじゃなくて最高でした」とガッツポーズされていました。

コンサートの準備にはそれなりに手間や労力も掛かりましたが、このような感想を聞くととても元気を貰えます。また次回も素敵なコンサートを企画して提供していきたいと強く思っています。

